

安全データシート

整理番号 : NAH04XAG

作成 : 1996年 6月28日
R3 : 2024年 7月 4日

1 化学物質等及び会社情報

製品情報

製品名 : Na₂CO₃ 炭酸ナトリウム Sodium carbonate, anhydrous

カタログ#	純度	形状	備考
NAH04XB	99%(2N)	—	—

会社情報

会社名 : 株式会社 高純度化学研究所

住所 : 〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28

電話 : 049 (284) 1511 F A X : 049 (284) 1351

作成部門 : 品質保証部

推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用

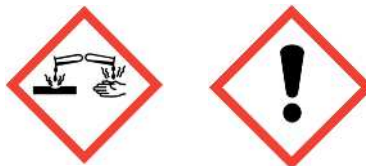
2 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
急性毒性(経口, 経皮) : 区分外 急性毒性(吸入-粉塵) : 区分4 皮膚腐食性/刺激性 : 区分外 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1 特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分3	水生環境有害性 短期(急性) : 区分外 長期(慢性) : 区分外	可燃性固体 : 区分外 自然発火性固体 : 区分外 自己発熱性化学品 : 区分外

GHSラベル

絵表示



P R T R 法 : 非該当

官報公示整理番号 : ・ 化審法 既存化学物質 1-164、
・ 安衛法 新規名称公表化学物質 8-(2)-2462

C A S # : 497-19-8

R T E C S # : VZ4050000

T S C A : 登録

E I N E C S : 2078388

4 応急措置

目に入った場合 : ・ 流水で眼を最低 15 分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。

・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。

皮膚に着いた場合 : ・ 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹼を使ってよく落とす。

・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。

吸入した場合 : ・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。

・ 鼻をかませ、うがいをさせる。

飲み込んだ場合 : ・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。

5 火災時の措置

一般的注意 : ・ 表題製品は不燃性であり、消防法の非危険物である。

・ 消火の際には必ず保護具を着用する。

消火方法 : ・ 他の危険物の消火条件に従う。消火剤や消火方法の制限はない。

6 漏出時の措置

一般的注意 : ・ 可能であれば漏れを止める。

処理作業者に対する注意 : ・ 作業の際には保護具を着用し、粉末(蒸気)の付着、吸入を防ぐ。

・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。

環境影響に対する注意 : ・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。

もれ出た物の処理に対する注意 : ・ できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

7 取り扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

* 一般的注意 : ・ 本製品は安衛法安衛則皮膚等障害化学物質に該当します。取り扱う作業が同規則に規定されるものである場合には同規則を守った取り扱いが必要です。
(不浸透性の保護衣、保護手袋、履物又は保護眼鏡等適切な保護具 など)

* 作業者の暴露防止 : ・ 適切な身体保護具を選んで着用し、局所排気装置を利用して作業者が物質に触れないように、また物質の蒸気、粉塵を吸引しないようにする。
・ 取扱いは、換気の良い場所で行う。

保管上の注意

* 一般的注意 : ・ 容器内部を乾燥雰囲気にして密閉し、乾燥した冷暗所に保管する。

8 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : ・ 作業環境評価基準(2020) 規定なし。

(参考) ・ 土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん 3.0 mg/m³ (25°C, 1atm, 空气中)

許容濃度 : ・ 厚生労働大臣が定める濃度の基準(2023), 日本産業衛生学会(2023), ACGIH(2024), OSHA(2006) 設定されていない。

設備対策 : ・ 粉塵に暴露される可能性のある場合は局所排気設備等を使用すること。

保護具 : ・ 空気呼吸器, 防塵マスク, 塗布剤, 不浸透性の保護衣, 保護手袋, 保護長靴, 保護眼鏡 等

9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度(°C)

外 観 等 : ・ 白色固体

化学式 : Na₂CO₃ 式 量 : 106.0
融 点 : 851 °C(分解) 400°Cから二酸化炭素を失い始める。
密 度 : 2.54 g/cm³
溶 解 性
* 水 : ・ 冷水に可溶、温水に易溶。
・ 水溶液はアルカリ性を呈する。

可燃性 : ・ 不燃性
酸化性 : ・ データなし。

1 0 安定性及び反応性

化学的安定性 : ・ 容器を乾燥雰囲気にして密封し、室温保存で安定である。
・ 吸湿性。

反応性 : ・ 二酸化炭素を吸収して炭酸水素ナトリウムを生成する。

* 避けるべき条件 : ・ 空気、湿気、水分、熱

* 混触危険物質 : ・ 強酸、アルミニウム、リチウム、フッ素、五酸化ニリン、マグネシウム

1 1 有害性情報

急性毒性(経口) : ・ GHS 判定 区分に該当しない。

・ ラット LD₅₀ = 2800 mg/kg (SIDSによる)

急性毒性(経皮) : ・ GHS 判定 区分に該当しない。

・ ウサギ LD₅₀ > 2000 mg/kg (SIDSによる)

急性毒性(吸入-粉塵) : ・ GHS 判定 区分4 ; 吸入すると有害

・ ラット LC₅₀(4h) = 1.2 mg/L (SIDSによる)

皮膚腐食性/ 刺激性 : ・ GHS 判定 区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : ・ GHS 判定 区分1 ; 重篤な眼の損傷

・ SIDS などによる。

呼吸器感作性 : ・ GHS 判定 データなし。

皮膚感作性 : ・ GHS 判定 データなし。

生殖細胞変異原性 : ・ GHS 判定 データなし。

・ 変異原性が認められた既存化学物質等 (令和5年11月30日現在) に該当しない。

発がん性 : ・ GHS 判定 データなし。

日本産業衛生学会(2023), IARC(2024), NTP(2021), ACGIH(2024)による発がん物質に記載なし。

生殖毒性 : ・ GHS 判定 データなし。

特定標的臓器毒性

単回暴露 : ・ GHS 判定 区分3 ; 呼吸器への刺激のおそれ

区分3 ; 眠気又はめまいのおそれ

・ SIDS(access on July 2008)による。

反復暴露 : ・ GHS 判定 データなし。

誤えん有害性 : ・ GHS 判定 データなし。

1 2 環境影響情報

水生環境有害性

短期(急性) : ・ GHS 判定 区分に該当しない。

・ 甲殻類(ミジンコ) EC₅₀(48h) = 250 mg/L (SIDS(2002))

長期(慢性) : ・ GHS 判定 区分に該当しない。

オゾン層への有害性 : ・ GHS 判定 データなし。

・ フロン, ハロンでない。

魚毒性 : ・ 上記参照

分解性 : ・ 現在のところ知見なし。
蓄積性 : ・ 現在のところ知見なし。
土壤中の移動性 : ・ 現在のところ知見なし。

1 3 廃棄上の注意

廃棄方法 : ・ 専門の業者に委託する。
特別管理産業廃棄物 : ・ 該当しない。

1 4 輸送上の注意

国連分類 : 非危険物
輸出統計 : 2836. 20-000
国連番号 : ー
輸入統計 : 2836. 20-100

海洋汚染 : ・ 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 : 該当しない。

注意事項 : ・ 運搬中の温度, 湿度, 圧力等の変化で破損や漏洩等の恐れがない容器に、輸送中の破損等が起こらないように収納する。

1 5 適用法令

◆規制条項

- ・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 : ◇既存化学物質
- ・ 労働基準法 : ◇該当項目なし。労働安全衛生法と重複する項目は省く。
- ・ 労働安全衛生法 : ◇危険物や通知対象物, 特定化学物質等に該当しない。
 - ◆表示・通知対象物(炭酸ナトリウム) ※ 2025 年 4 月 1 日より対象
 - ◆皮膚刺激性有害物質(炭酸ナトリウム)
 - ◇がん原性物質 該当しない
- ・ 毒物及び劇物取締法 : ◇普通物(毒物や劇物に該当しない)
- ・ 消防法 : ◇非危険物(非届出物質)
- ・ 化学物質管理促進法(P R T R 法) : ◇非該当
- ・ 道路法 : ◇非危険物
- ・ 船舶安全法 : ◇非危険物
- ・ 港則法 : ◇非危険物
- ・ 航空法 : ◇非危険物
- ・ 外国為替及び外国貿易管理法
 - * 輸入貿易管理令 : ◇自由化品目
 - * 輸出貿易管理令 : ◆別表第一 該当
- ・ 環境基本法 : 環境基準 ◆大気(浮遊粒子状物質) ◆水質(pH, 浮遊物質) ◇土壌(ー)
- ・ 大気汚染防止法 : ◆粉じん、ばい煙 ; ばいじん
- ・ 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律 : ◇特定物質でない。
- ・ 悪臭防止法 : ◇悪臭物質に該当しない。
- ・ 下水道法 : ◆水質基準(pH, 浮遊物質)
- ・ 水質汚濁防止法 : ◆排水基準(pH, 浮遊物質) ◇地下浸透規制(ー)
- ・ 土壌汚染対策法 : ◇該当項目なし。
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : ◇特別管理産業廃棄物に該当しない。
- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律 : ◇海洋汚染物質に該当しない。

1 6 その他

参考文献 :

- 1) JISZ7252 (2019) ; GHS に基づく化学品の分類方法
- 2) JISZ7253 (2019) ; GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

- 3) 事業者向け GHS 分類ガイダンス(令和元年度改訂版(ver. 2.1)) 経済産業省
- 4) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP ; (独)製品評価技術基盤機構(NITE))
- 5) 日本化学会編, 化学便覧 基礎編 改訂 6 版 ; 丸善
- 6) 化学大辞典 ; 共立出版
- 7) David R. Lide, CRC Handbook of Chemistry and Physics 76th Ed., CRC Press
- 8) GESTIS-database on hazardous substances ; (IFA)
IFA : ドイツ労働災害保険協会労働安全衛生研究所
- 9) HSDB(Hazardous Substances Data Bank) ; 米国国立医学図書館(NLM)
- 10) CAMEO Chemicals ; 米国海洋大気庁(NOAA)
- 11) ICSC(国際化学物質安全性カード) ; 国立医薬品食品衛生研究所, WHO/IPCS
- 12) 17120 の化学商品 ; 化学日報工業社
- 13) 皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル(厚生労働省)

注意事項 : ・ この安全データシート(SDS)は製品の危険, 有害性等に関する情報を提供するものです。製品の品質や性能, 安全性(物性値、危険有害性情報等)についてはいかなる保証をなすものではありません。

記載内容は作成時点において入手可能な資料, 経験に基づき作成しておりますが、情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合に修正, 追加されることがあります。

ご使用の際は、使用される国, 地域などの法規制情報等をご使用者において調査され、最優先していただくとともに、安全に注意してご使用ください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。